

長沼町 × 鶴居村 タンチョウ子ども交流ツアー

タンチョウを中心とした両町村の特色や魅力を学ぶことを目的に開催。参加者は、長沼町と鶴居村をそれぞれ訪問し、体験活動などを通じ、交流を深めた。

第1回タンチョウ子ども交流ツアー in長沼町

開催日：8月9日～11日

参加者：子供28名（長沼町 小学生12名、鶴居村 小学生11名・中学生5名）

「タンチョウも住めるまちづくり」を学ぶとともに、舞鶴遊水地での生きもの探しや岩笛作り、蕎麦打ち体験などを実施。また、最終日には、班ごとに活動の感想や学んだことなどを発表。



タンチョウの形の岩笛作りを体験



舞鶴遊水地での生きもの探し

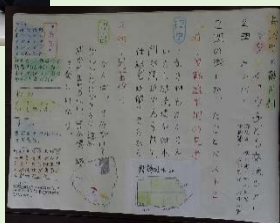


活動の中で楽しかったことを話し合い



壁新聞を保護者や地域住民の前で発表

班ごとに壁新聞を作成



第2回タンチョウ子ども交流ツアー in鶴居村

開催日：9月29日～30日

参加者：子供29名（長沼町 小学生10名、鶴居村 小学生14名・中学生5名）
保護者7名（長沼町）

釧路湿原やタンチョウと人との関わりについて学び、タンチョウの観察、酪農家からのお話、釧路湿原の散策など実施。鶴居村にタンチョウが多く生息している理由を考え、まとめのポスターを作成。



酪農家からタンチョウに対する想いを聞く



釧路湿原の散策



班ごとに話し合い



班で話し合った意見を発表し、全体で考えをポスターにまとめた